

ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時 2022年3月18日

交渉: ウクライナとロシアの代表団間の交渉は、リモート形式と作業サブ・グループで継続しています。一方で、より多くの情報筋が、今後数週間でゼレンスキー・ウクライナ大統領とロシア大統領との会談が行われる可能性があるとしています。クレバ・ウクライナ外務大臣は「ゼレンスキー大統領は明日にでも会談ができます。彼の立場は明確で、あらゆる問題について定式化されており、ウクライナはこの会談の準備ができています」と**表明しました**。ポドリャク・ウクライナ大統領府長官補佐官は、国家元首の関与なしには解決できない質問のリストがすでに用意されていると**述べました**。

外交政策: 木曜日、ドイツ連邦議会にて、ゼレンスキー大統領がドイツの国会議員に**演説しました**。同大統領は、制裁だけでは不十分で、遅すぎるという厳しい批判をしました。ドイツはロシアへの財政支援を止める必要があります。また、大統領は演説の中で、収入よりも平和を優先するために、ロシアに対するより厳しい制裁を導入するとともに、欧州連合(EU)へのウクライナの加盟を遅らせないように促しました。リトアニア議会(セイマス)は全会一致で、民間人の大量殺戮を阻止するためにウクライナ上空に飛行禁止区域を確保するための即時措置を講じるよう国連に求める決議を採択しました。リトアニアは、国民の命を救うためにウクライナ上空に飛行禁止区域を設ける措置について直ちに合意するよう国連に求めた第三国です。

軍需産業: [Investigate Europe](#)が直近公表したレポートによると、2014年以降、ロシアへの兵器販売が禁止されているにもかかわらず、10のEU加盟国がロシアとの軍事ビジネスを継続しています。分析データは全てのEU加盟27カ国の輸出登録簿に基づき、2015~2020年の期間をカバーしています。Investigate Europeが分析した公開データによると、軍事装備品の総輸出額は3億4,600万ユーロ相当になります。フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ブルガリア、チェコ共和国、クロアチア、フィンランド、スロバキア、スペインなどが「軍事装備」をロシアに販売しています。調査によると「軍事装備」という用語は広範であり、ミサイル、爆弾、魚雷、銃、ロケット、陸上車両、船やその他の軍用品が含まれている可能性があります。

攻撃を受けている都市: 先週、毎日キエフ近郊でミサイルの残骸が落下しました。今日、別の集合住宅が**破損しています**。キエフ州ブチャ地区、ビシュゴロド地区、そしてプロバリー地区の4つのコミュニティで激しい攻撃が続いています。早朝、リヴィウ郊外で航空機修理工場を狙った爆発が3回起きました。チェルニーヒウ州では、ロシア軍は民間インフラの中に兵器を配置しており、依然として活発な攻撃を受けています。同州では民間人に対する攻撃も起きており、米国民も犠牲者となりました。オルロフ・マリウポリ副市長は、市内に被害を受けていない建物はないと述べています。約80~90%のインフラが軍事活動の影響を受け、市内では毎日約50~100発の爆弾が投下されています。また、空爆を受けたマリウポリの劇場から、約100人の住民が敷地から離れることができましたが、残りの人たちは瓦礫の下に残っています。絶え間ない砲撃のため、劇場からの避難は不可能です。ルハンスク州シェヴェロドネツクとルベジネでは、ロシア人が夜中に20軒以上の家屋を破壊しました。ハルキウ州での砲撃後、東ヨーロッパで最大の市場の1つである**バラバシヨボ**が火災になりました。ハルキウ州メレファでの前夜の攻撃の後、21人が死亡し、25人が負傷しました。ヘルソン州の状況は依然として危機的であり、必需品は限られており、避難回廊はまだ合意されていません。

過去24時間、攻撃により非常に危険とされる地域から3810人が避難しました。2000人のマリウポリの住民がザポリージャに到着し、さらにヴォルツェル、ブチャ、ゴストメル、シェフチェンキフ、ボロディアンカの住民1810人が避難しました。最新状況が把握できる**最新の地図**をご覧ください。

戦争による経済損失: 過去1週間、ロシアが損傷したウクライナのインフラ損害は**83億ドル**増加し、損害の概算合計は約626億ドルに相当します。キエフ経済大学は、大統領府および経済省とともに、インフラ損害に関する情報を収集するための**ウェブサイト**を立ち上げました。

シリア: [ウクライナ参謀本部](#)は、ロシアがウクライナでの戦いに参加するために約1000人のシリアの傭兵を募集したと警告しています。ウクライナの軍事諜報機関によると、近い将来、ロシア占領軍を支援するために、武器、軍事装備、

およびその他の資源をシリアからロシアとベラルーシに移動することが計画されています。また、伝えられるところでは、シリアの過激派は、実際の戦闘ではなく、自国を離れヨーロッパ諸国に移動する可能性があります。

ビジネス: PayPalはウクライナでの運営を開始します。ネスレはロシアを離れず、引き続きビジネスを継続しています。[シュミハリ・ウクライナ首相](#)はネスレのCEOに緊急嘆願書を送りましたが、会社の立場は変わっていません。

ボイコット: スウェーデン港湾労働者連合は、3月28日から、ロシアの船舶と港からの物品の封鎖の開始を発表しました。欧州宇宙庁(ESA)は、ロシアのウクライナ侵攻により、ロスコスモスと協力してExoMarsミッションを開発することを拒否しました。

戦争に対するロシア世論の支持: ショルツ独首相の『一般ロシア人を侮辱したり攻撃したりしない』という呼びかけに対し、ポドリャク・ウクライナ大統領府長官補佐官は「公式には、ロシア人の71%がウクライナとの戦争と市民の大量殺戮を強く支持しています。心に留めてください」と[返答](#)しました。VoxUkraineの編集者イロナ・ソロゴウブ氏は「プーチンは、ウクライナでのロシアの侵略戦争を個人化しています。しかし、無実のウクライナ人の血は、プーチンを支持する何百万人ものロシア人の手にもあります」と述べています。[こちらの記事](#)で戦争に対するロシアの世論の支援のレベルを確認してください。

文化: 文化遺産は依然として攻撃を受けています。ハルキウ州イジュームでは、占領者がクレメネチ第二次世界大戦記念碑を破壊し、空爆によって記念碑の石碑の1つが倒れました。一方、イタリア政府はマリウポリの破壊された劇場を再建する準備ができていると表明しました。イタリア文化大臣はツイッターで、閣僚は彼の提案を支持したと[述べました](#)。ロンドンでは、[MyArtBroker](#)がバンクシーの絵画「CNDSoldiers」のサイレント・チャリティー・オークションを始めました。集められた全てのお金は、ウクライナのキエフにあるオフマディット小児専門病院に寄付されます。

ブリュッセルのウクライナ市民社会ハブ: [ロベルタ・メツォラ欧州議会議長](#)は、ウクライナの市民社会組織であるPromoteUkraineにStation Europeの鍵を渡しました。[このスペース](#)は、デモの開催、記者会見などのウクライナの市民社会の行動の調整や、ベルギーにきたウクライナからの難民に対し、求職や市役所への登録を含めた心理的・行政的支援を提供するために使用されます。

統計情報

- 戦争が始まって以来、32万人以上の市民がウクライナに戻りました。
- ウクライナの少年検察官は、ロシアのウクライナ侵攻の結果、109人の子供が殺され、130人が負傷したと報告しています。
- ウクライナ軍の参謀本部は、2022年3月18日午前6時現在のロシア軍の推定損失を発表しました: 軍隊約14,200人、戦車450台、APV1,448台、砲兵システム205台、MLRS72台、対空航空機戦闘システム43台、固定翼航空機93台、回転翼航空機112台、装甲戦闘機879台、軽量ボート3台、燃料タンク60台、UAV運用-戦術レベル12台、特殊装備11台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- あなたの近くにある[人道センター](#)を支援してください。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- 真実を共有してください。このアップデートとウェブサイトに関する情報を共有してください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます。Slava Ukraini! ウクライナに栄光あれ！